

「デジタルデータ技工時代での歯科技工所の変化」

歯科技工所では、アナログからモデルスキャンによるデジタル化が日常の風景になって来ている。

歯科医院では従来法であるシリコン印象と口腔内スキャナーを選択出来る時代が到来しているがまだまだ

口腔内スキャナーは日常的とは言えない。しかし歯科技工所としてはデジタルで仕事を受ける準備や知識

が無いと受注の守備範囲が小さくなってしまふ。弊社は勤務が10人以下の歯科技工所であるが、どのような

段階をデジタルに対し踏んできたのか、今何に力を入れるのかを簡単であるが述べさせて頂きたいと思う。

並びに口腔内スキャナー使用のメリットデメリット、導入機械の組み合わせ、3Dプリンタの使用ケースなど弊

社の生き残る為の状況をご紹介します。